

株式会社金光組

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年 10月～2024年 9月)



株式会社金光組



発行日：2024年9月30日
改定日：2023年11月30日

I. ごあいさつ

株式会社金光組は、昭和32年の創業以来、土木工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。
全従業員が地球環境の保全と重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

環境経営方針

当社は、ガス工事、土木工事各事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、経営における課題とチャンスを定期的に明確にし、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組みを行い、継続的な改善を推進します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します（電気、ガソリン、軽油）
3. 事務所及び建設現場での廃棄物の削減を推進します。
4. 水道使用量の削減を推進します。
5. 環境に配慮した施工監理を推進します。
6. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2017年9月1日
改定日：2023年11月30日
代表取締役

金光 正義

II. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社金光組
代表取締役 金光正義

(2) 所在地

本社 〒710-0038 岡山県倉敷市新田2963番地1
残土置場 〒710-0038 岡山県倉敷市新田2968番地1
資材置場 〒710-0038 岡山県倉敷市新田2963番地1

(3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先

責任者	代表取締役	金光 正義	TEL:086-427-2239
担当者	環境事務局	金光 正義	FAX : 086-427-2245
	事務部	井本 佑理	E-Mail : y. imoto@kanemitsu-gumi.co.jp
	工事部	鳥居 節夫	

(4) 事業内容

一般土木・建設工事業

土木工事業、とび・土木工事業、舗装工事業、石工事業、管工事業、
構造物工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業

(5) 事業の規模

年間工事完成高： 465.8百万円（2023年度）

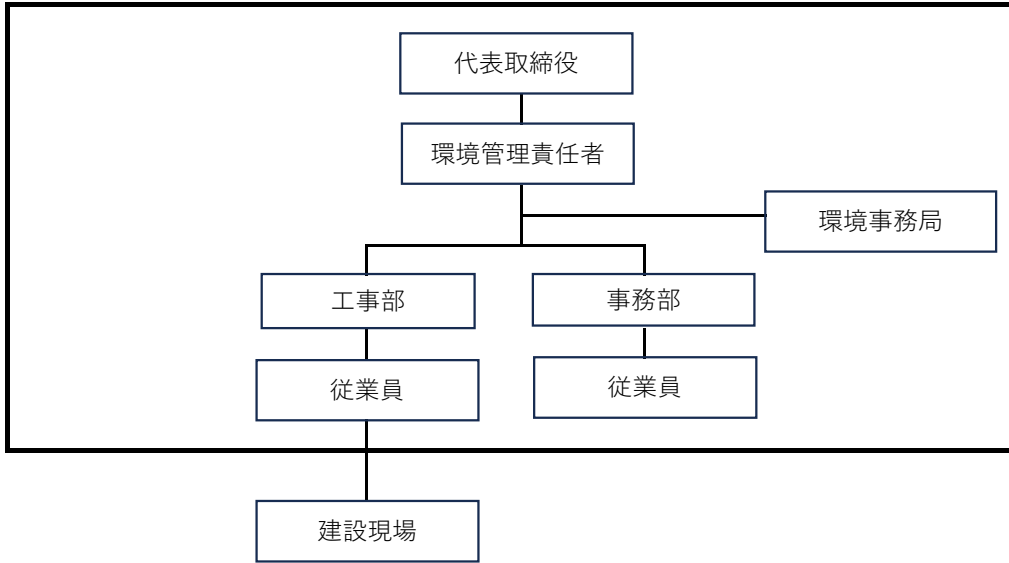
	本社	資材置場	残土置場	合計
従業員（人）	17名	無人	無人	17名
延べ床面積(m ²)	257.93m ²	56.27m ²	-	314.2m ²
敷地面積（m ² ）	659.51m ²	903.61m ²	-	1563.12m ²

(6) 事業年度 10月～翌年9月

III. 認証・登録の対象範囲

登録組織名： 株式会社 金光組
サイト： 本社、資材置場、残土置場
対象外： なし
活動： 一般土木・建設工事業

IV. 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認 ・経営における課題とチャンスの明確化の実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） ・環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
工事責任者 (現場代理人)	<ul style="list-style-type: none"> ・建設現場における環境経営システムの実施 ・工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 ・建設現場の環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 ・建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

IV. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年度 基準年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	78,375	75,728	92,811	72,736	91,408
電力使用量	kWh	13,143	15,300	14,056	18,827	23,676
ガソリン使用量	L	595	4,202	7,863	8,067	8,184
軽油使用量	L	1,147	21,728	25,276	56,885	20,175
都市ガス使用量	m ³	646				2,086
廃棄物排出量						
一般廃棄物	kg	595	591	595	590	581
産業廃棄物	kg	1,628	1,575	1,121	1,308	1,781
水道水使用量	m ³	256	309	300	228	205

V. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

年度		2019年度 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	78,375	74,848	74,456	74,064	73,672
	対基準	100%	95.5%	95%	94.5%	94%
電力使用量削減	kWh	13,143	12,552	12,486	12,420	12,354
	排出係数 0.636	8,359	7,983	7,941	7,899	7,857
ガソリン 使用量削減	L	595	568	565	562	559
	kg-CO ₂ 対基準	1,380	1,318	1,311	1,304	1,298
ガソリン 使用量削減 (建設現場)	L	3,981	3,802	3,782	3,762	3,742
	kg-CO ₂ 対基準	9,236	8,820	8,774	8,728	8,682
軽油 使用量削減	L	1,147	1,095	1,090	1,084	1,078
	kg-CO ₂ 対基準	3,005	2,870	2,855	2,840	2,825
軽油 使用量削減 (建設現場)	L	20,992	20,047	19,942	19,837	19,732
	kg-CO ₂ 対基準	54,999	54,449	53,905	53,360	52,816
都市ガス 使用量削減	L	646	617	614	610	607
	kg-CO ₂ 対基準	1,395	1,333	1,326	1,319	1,312
II. 廃棄物排出量						
一般廃棄物 削減	kg	595	568	565	562	559
	対基準	100%	95.5%	95%	94.5%	94%
産業廃棄物 適正管理	kg	1,628	1,555	1,547	1,539	1,530
	対基準	100%	95.5%	95%	94.5%	94%
III. 水使用量 削減	m ³	256.0	244.5	243.2	241.9	240.6
	対基準	100%	95.5%	95%	94.5%	94%
IV. 環境に配慮した 施工の監理(許可 等の電子申請)	件数比率	45%	93%	93%	92%	92%
	対基準	100%	95.5%	95%	94.5%	94%
V. 課題とチャン スの推進	%	74 (実績把握2021年)	71	70	70	69
	対基準	100%	95.5%	95%	94.5%	94%

注1) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、中国電力(株)2018年度実績値の調整後係数 0.636kg-CO₂/kWh を使用。

(2) 対象期間の実績

項目	年度	運用期間における実績 (2023年10月～2024年9月)				
		2019年10月～ 翌年9月	目標	実績	達成度	評価
		基準値				
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	78,375	74,848	91,408	82%	×
	対基準	100%	95.5%	86%		
電力使用量削減 排出係数 0.511	kWh	13,143	12,552	23,676	53%	×
	kg-CO ₂	8,359	7,983	15,058		
ガソリン 使用量削減	L	595	568	1,404	40%	×
	kg-CO ₂	1,380	1,318	3,258		
ガソリン 使用量削減 (建設現場)	L	3,981	3,802	6,780	56%	×
	kg-CO ₂	9,236	8,820	15,729		
軽油 使用量削減	L	1,147	1,095	1,453	75%	×
	kg-CO ₂	3,005	2,870	3,807		
軽油 使用量削減 (建設現場)	L	20,992	20,047	18,722	107%	○
	kg-CO ₂	54,999	52,524	49,051		
都市ガス 使用量削減	m ³	646	617	2,086	30%	×
	kg-CO ₂	1,395	1,333	4,506		
II. 廃棄物削減						
	一般廃棄物 削減	kg	595	568	581	98%
産業廃棄物 適正管理	—	1,628	1,555	1,781	87%	×
	排出量kg	100%	95.5%	91%		
III. 水使用量 削減	m ³	256.0	244	205	119%	○
	対基準	100%	95.50%	125%		
IV. 環境に配慮した 施工の推進 (許可等の電子申 請)	件数比率	97%	93%	97.6%	104.9%	○
	(2021年度実績)					
	件 (電子/全体)	457/469	575/619	604/619		
対基準		100%	95.5%	95.5%		
V. 課題とチャンスの 推進	%	74%	71%	70.1%	70.1%	×
	対基準	100%	95.5%	94.7%		

注2) 化学物質は実施していない

注3) 達成度の計算式 削減するもの：目標÷実績×100(%)
 拡大するもの：実績÷目標×100(%)

VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減		
		実態調査
(下記の通り)		(下記の通り)
電力使用量の削減		
		実態調査
・不要時のパソコン電源OFF	◎	節電・空調機器の設定温度・エコドライブ・事務員の情報共有による業務の効率化と電気自動車での移動時間の短縮を行った。次年度は労務・経理・会計においてソフトを導入し事務作業の簡略化を推進する上で残業時間を低減し節電につなげていく。
・不要照明の消灯	○	
・OA機器の省エネモード設定	○	
ガソリン使用量の削減		
		実態調査
・アイドリングストップ	△	効率的なルート移動とエコドライブについて頻回に朝礼で周知している。今年度は中途採用5名へ入社時に左記取組について共有した。引き続き左記取組を継続していく。
・急加速・急停車の防止	○	
・効率的な移動	○	
軽油使用量の削減		
		実態調査
・重機の空ふかしの禁止	△	ガソリン使用量の削減同様、効率的なルート移動とエコドライブについて頻回に朝礼で周知しており、中途採用5名へ入社時に左記取組について共有した。引き続き左記取組を継続していく。
・アイドリングストップ	○	
・空気圧、オイル等の点検	○	
都市ガス使用量の削減		
		実態調査
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)(ガスエアコン)	◎	設定温度の掲示やグリーンカーテンの設置・ひざ掛けの利用等、工夫し設定温度は維持できた。水温管理に関しては共有が不十分だった為、環境会議の際共有した。引き続き左記取組を継続していく。
・水温管理(20℃を基準)	△	
・部屋開放の禁止	◎	
一般廃棄物の削減		
		実態調査
・裏紙使用	○	中途採用5名へ裏紙使用の際の個人情報・機密情報の漏洩に関し教育を行った上で左記取組について共有。引き続き左記取組を継続していく。
・分別の徹底	○	
産業廃棄物の適正管理		
		実態調査
・発生量の抑制	△	引き続き的確な分別と100%再生可能な産廃物になるよう努める。
水使用量の削減		
		実態調査
・節水の周知徹底	○	5月以降グリーンカーテンの設置により、上期と比較し増加傾向。次年度も設置予定の為、雨水利用の利用方法を会議で検討し設置予定(設置時期未定)。
・節水表示	○	
・清掃時・手洗い時の節水	○	
環境に配慮した施工監理		
		実態調査
・道路使用許可書の電子申請化	○	平均達成率97%と良好だが100%に至らぬ要因としては両申請方法ともに着工3日前の提出が必要だが電子申請で処理した場合、申請手数料の支払い確認の時間差により受理が1日遅れる場合がある。その為急遽工事日が確定し着工日が差し迫っている案件に関しては紙申請を利用の為、今後も適正利用に努める。
課題とチャンスの推進		
		実態調査
・多様なガス工事に対応できる体制を構築	◎	資格取得は非常に良好。経験の浅い従業員にも教育の上講習を受講することで合格者100%となった。電子マニフェストの運用率平均70%。工事現場により電子マニフェストの利用がない現場もある為、月ごとに変動はあるが概ね利用できている。引き続き電子マニフェストの運用を続けていく。
・電子マニフェストの運用	○	

VII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき事項	遵守評価
廃棄物処理法	廃棄物の適正な処理	遵守
建設リサイクル法	発注者への再資源化等完了報告と記録の保存	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊車両の使用	遵守
騒音規制法	特定建設作業の事前届け出、規制基準の遵守	遵守 該当なし
振動規制法	特定建設作業の事前届け出、規制基準の遵守	遵守 該当なし
フロン排出抑制法	フロン類の登録充填回収業者による、適切な引渡し、定期点検	遵守 該当なし
NOx・PM法	排気ガス規制に適合した自動車の使用	遵守
資源の有効な利用に関する法律	廃棄パソコンのリサイクル、適正処理	遵守
家電リサイクル法	家電製品の適正な処分	遵守 該当なし
消防法	消火器の設置、維持	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

VIII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

昨年度2023年3月に本社を移転し、今期が新本社で通期での初めての記録となる。売上の増加や移動距離の短縮による残業時間の減少等、期待していた効果は現れたと思う。それに伴い来期からは、現状に即した環境活動を行っていく必要があると感じた。近年受注先、受注量、協力会社が増えてきている。弊社は工事管理システム：RAKUNY：を使って、受注工事の「見える化」を行っている。今期より、自社・協力会社の位置関係を確認しながら移動距離の少ないよう、工事の割り振りを行っている。これにより、燃料費、残業代の削減を期待できる。

環境経営方針の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 要	<input type="checkbox"/> 不要
環境経営目標・経営計画の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 要	<input type="checkbox"/> 不要
取組体制の見直し	<input type="checkbox"/> 要	<input checked="" type="checkbox"/> 不要
その他の見直し	<input type="checkbox"/> 要	<input checked="" type="checkbox"/> 不要

2024年10月1日

7

代表取締役

金光正義

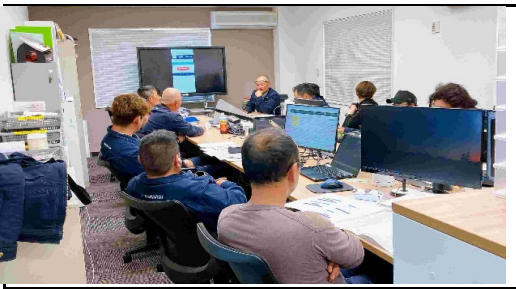
IX. 環境への取組の紹介



<緑地化の様子>



<グリーンカーテンの設置>



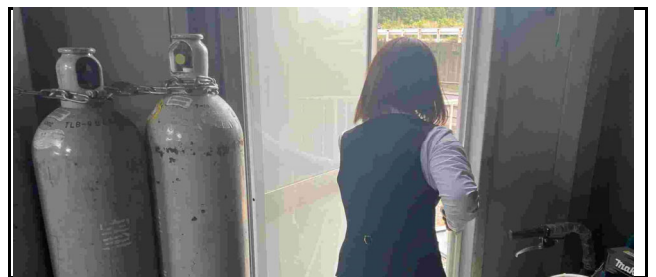
<環境会議>



<清掃活動>



<消火訓練>



<避難経路の再確認>